

カリキュラム

機構施設名： 和歌山職業能力開発促進センター
 実施機関名： パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社

(A) 生産管理	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
-----------------	---------------------------

コースのねらい	製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。
----------------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	ものづくりの仕事の流れ	(1) 製造業を取り巻く環境 ・日本における製造業の位置づけ ・製造業を取り巻く環境と課題 (2) 製造業全体のしくみ ・メーカーのものづくり ・生産管理面からみた製造業務 ・製造業の課題 ・生産方式からみた製造 ・ものづくりの競争力 (3) 製造人として具備すべきこと ・「報・連・相」の重要性 ・「次工程はお客様」の考え方と浸透 ・「安全第一」の考え方と浸透	1.5
	2	ものづくり現場の現状と課題	(1) 製造業のQCDSM【演習あり】 ・製造現場の5大任務 ・生産活動でのロス構造 【演習】ムダ・ロス・気づき演習 (2) ものづくり現場の5S ・実践5S「目で見える管理」の進め方(ビデオ) ・ものづくり現場の5S活動 ・整頓は3定がかなめ	2.5
	3	ものづくりに関する業務改善	(1) 活動の基本的な考え方 ・なぜ改善が必要なのか ・改善の3つの考え方 (2) 改善の進め方【演習あり】 ・改善に着手する、着想する ・改善に着手～実施する 【演習】QC7つ道具を使った改善ストーリー演習 (3) 5S活動とムダ取り ・5S活動と7つのムダ取り ・改善の4原則(ECRS)	2.0
合計時間			6.0	

カリキュラム作成のポイント
事業会社様の研修への要望に沿った内容で進めます。(項目1)製造業の置かれている環境と位置づけ、製造業の仕組み、製造現場での仕事に対する考え方を学びます。(項目2)ものづくりの現状と課題を認識するための学習(項目3)今抱えている改善テーマをQCストーリーで進められるグループ学習と発表する場をつくり人材育成の一助になる研修を組んでみました。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他) 講師用PC(持参)
●使用するテキスト ・自作テキスト(配布資料含む)	●その他

利用事業主に用意をを求める機器等	備考
	使用設備: プロジェクター(HDMI端子およびUSB-Type A端子対応)、スクリーン、ホワイトボード、マーカー(赤、黒)